

コロナ禍の中で気づいた小さな支えあいエピソード【一覧】

数か月前までは、人と会い、おしゃべりし、交流することが当たり前の生活としていました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、私たちのこれまでであった普通の暮らしができなくなりました。

政府の緊急事態宣言により、「Stay Home」人との接触を減らし自宅で過ごすことが多くなり、緊急事態宣言解除後も、感染防止対策として政府からは「新しい生活様式」に切り替えることを求められています。

今だからこそ気づく、「普通の暮らしの幸せ」。

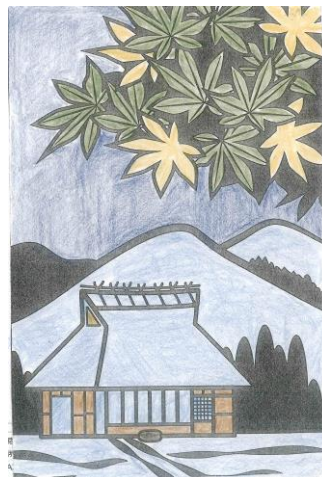
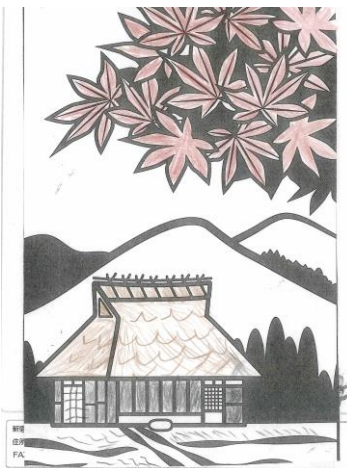
支えあいは、人が集まらなくても、おしゃべりできなくても、普通の暮らしの、日常にあるもの、と改めて感じる日々です。そのようなエピソードを、地域の皆さまとお話しする中で耳にするようになりました。

今後、ほっこりするエピソードを「小さな支えあいエピソード」として掲載していきます。

～ベストリハ西落合～

西落合にあるデイサービス、ベストリハ西落合から、利用者さまがレクリエーションの一環として取り組んだ作品をいただきました。ほのぼのとした色合いに心がなごみます。人と人との距離をとることが必要な今だからこそ、とても嬉しい贈り物です。

素敵な作品を提供していただき、ありがとうございました。

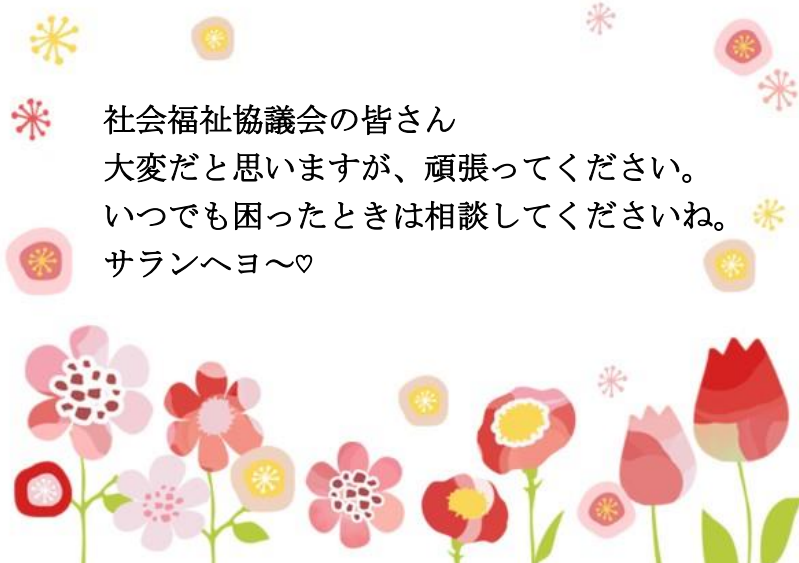


私たちが担当します。
こまごま、お世話を焼くのは大塚さん、岩井さんです。



お世話を焼く 大塚さん、岩井さん

アルコール消毒液を購入した店舗の皆さんより
社協職員へメッセージとアルコール消毒液の寄付をいただきました。



✿ 社会福祉協議会の皆さん
大変だと思いますが、頑張ってください。
いつでも困ったときは相談してくださいね。
サランヘヨ〜♡



コスメショップ蘭ちゃんの皆さん
(株式会社 亜太)

協力員（※）が活動時に使用するアルコールスプレーを購入したことがきっかけで、社協の事務所に設置するアルコール消毒液のご寄付をしていただきました。アルコール消毒液が品薄で購入することが難しい時期だったのでとても助かりました。

※地域見守り協力員事業、ちょこっと・暮らしのサポート事業の協力員の方へ携帯用のアルコール消毒液を配布しております。

個人宅へ活動に行かれる際に、ご活用ください。

ご希望の方は、窓口でお渡しするので、お手数ですがお近くの窓口までご来所ください。

窓口	住所
新宿社協 高田馬場事務所	新宿区高田馬場 1-17-20
東分室	新宿区四谷三栄町 10-16
笹塚町ボランティアコーナー	新宿区笹塚町 15 笹塚町特別出張所内
若松町ボランティアコーナー	新宿区若松町 12-6 若松町特別出張所内
大久保ボランティアコーナー	新宿区大久保 2-12-7 大久保特別出張所内
落合第一ボランティアコーナー	新宿区下落合 4-6-7 落合第一特別出張所内
落合第二ボランティアコーナー	新宿区中落合 4-17-13 落合第二特別出張所内
柏木ボランティアコーナー	新宿区北新宿 2-3-7 柏木特別出張所内

～見守り協力員さんより～

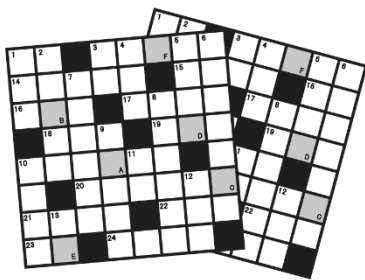
担当している見守り利用者さんで、クロスワードパズルが好きな方がいます。見守り訪問の度に、新聞のクロスワードパズルを切り抜いて持って行き、渡していました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために訪問を休止していた間（※注1）は、切り抜きを溜めておき、再開後に持って行くと利用者さんがとても喜んでくれました。

このようなご報告をボランティアの方からいただきました。

利用者さんに喜んでもらうために、協力員さんがおうちで新聞を切り抜いている姿を想像して、とても温かい気持ちになりました。

利用者さんも、心待ちにして訪問を待っていたそうで、今までに築かれたお二人の絆を感じました。



【地域見守り協力員事業】

75歳以上のひとり暮らし、または75歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。

※注1 緊急事態宣言発出中の4月～6月は、協力員による訪問を休止とし、職員から電話にて安否確認を行っていました。現在は感染予防対策をし、訪問を再開しています。

四谷地域の地域見守り協力員事業の利用者さんから、折り紙の爪楊枝入れを寄贈していただきました。夏らしいTシャツ型のカラフルな作品です。

コロナ禍のこのような時に少しでも癒しを届けられたら、という思いを込めて作成して下さった作品です。

寄贈いただいた作品を、7月に開催された「新しい生活様式に合わせたサロン・通いの場等の実践について考える」情報交換会の場で参加者にお渡しし、あわせて Zoom で参加いただいた方々にも窓口でお渡しできることを紹介させていただきました。

参加者の皆さんは、カラフルな作品を手にしてとても喜んでいらっしゃいました。

折り紙をご寄贈いただいた利用者さん、素敵な作品をありがとうございました。

※[地域見守り協力員事業](#)

75 歳以上のひとり暮らし、または75 歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。

◇お問合せ先

新宿区社会福祉協議会 東分室

新宿区四谷三栄町10番16号

TEL：03-3359-0051



夏らしく素敵ですね！

カラフルな作品の数々！

「人を助けることは、自分を助けること」

ボランティア活動の相談に来所した方。

中国の四川出身、日本語を学び、仕事のために来日されました。

活動の内容は問わないので、人のためにできることをしたいと希望。

ボランティア活動を始める際に、ボランティア活動への参加動機を伺っています。

「人を助けることは、自分を助けること」と。

コロナ禍の下ですが、少しずつボランティア活動を再開しています。「新しい生活様式」で、皆さんが安心して、人のため、自分のため、地域のために、活動いただけるよう、お手伝いさせていただきます。



四谷地区の見守り協力員事業の協力員の方が、マスクでお困りの方へと作ってくださった布マスク。4月下旬に社協に寄贈しようと東分室にご来所いただいたそうですが、あいにくコロナウィルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言中で東分室は窓口を休止していました。しかし、東分室と隣り合っている四谷高齢者総合相談センターの皆さんが、写真①のように手作りマスクの配布に協力をしてくださったのです。

また、寄贈者の方へメッセージを！と、マスクを受取った方にメッセージカードの記入を呼びかけてくださいました。「お礼にと小さな子どもが書いたアンパンマンの絵」「入院中の母に使用させて下さい」「個性のある鮮やかなマスクですばらしい！」など、幅広い年代の方からのたくさん感謝のメッセージであふれていました。

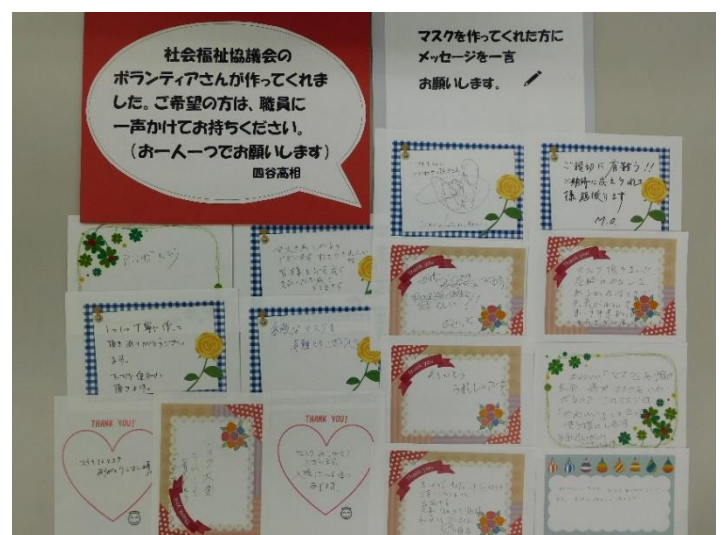
いただいたメッセージカードは社協から、寄贈者へお渡ししたいと思います。

マスクを寄贈していただいた協力員の方、想いをつないでいただいた四谷高齢者総合相談センターの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

写真①



写真②



ボランティアさんからの報告。

「トイレットペーパーが欠品で足りなくなってしまう、困っている。家族にも相談したが、すぐには来てもらえない。」と、一人暮らしの高齢者の方を訪ねた（※）際に、話を聞きました。後日、トイレットペーパーを入手することができたので、ご自宅へお届けしたらとても喜んでいただけました。

ボランティアさんからの報告で、小さな支えあいを感じました。

いろいろな生活用品が欠品になり、不安な気持ちを受け止めていただけたこと、ご近所同士での支えあいとしてお手伝いいただけたこと、ありがとうございます。

※地域見守り協力員事業

75歳以上のひとり暮らし、または75歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。



絵手紙が得意な協力員の方からイラストを提供していただきました。

【社協職員編】

ボランティアさんから届く報告書。

「コロナの中、大変でしょうが、お身体に気を付けて」との一筆箋。地域の方からの気遣いのお言葉に、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。



【社協職員編】

「社協の皆さんへ 頑張りましょう！」と応援のお言葉とともに素敵なお花をいただきました。いい香りのする、ビタミンカラーのお花です。

